



やさしさ 勇気 喜び そして 夢

# タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより第20号  
令和7年1月30日発行

(発行者 室田 和宏)

## 学校マネジメントアンケートご協力ありがとうございました

今年度は、保護者の回答数が昨年度の233名から320名と大きく伸びました。お寄せいただいた励ましや叱咤激励のコメントも一つ一つしっかり読ませていただきました。皆様の期待にお応えできるよう、結果をしっかり吟味して次年度以降の学校経営に生かすとともに、できる事は早速、今年度中から改善に取り組んでまいります。詳しくは、後ほどホームページでお知らせしますが、主だった数値（保護者の肯定的回答割合）を紹介しますと・・・

- 学校は、一人一人が大切にされ活気があり明るく・・・ R5 86.6%⇒R6 89.6% 全市 87.4%
- ◇児童は時と場に応じたあいさつをしている。 R5 78.6%⇒R6 81.1% 全市 85.1%
- ▽児童生徒はデジタル機器や図書を学習に活用している。 R5 87.2%⇒R6 81.8% 全市 81.3%
- ▽学校は小中一貫の取り組みを行っている。 R5 84.5%⇒R6 80.9% 全市 81.7%

### 働き方改革とカリキュラムマネジメント<シリーズ④ モジュールと週プログラム>

本校では、朝の学習に取り組んでいます。短い単位時間を有効に活用して、読書に親しんだり、基礎基本を中心に学習の定着を図ったりしています。この時間を有効に役立てるために、本年度、実際に確保できる学習時間や学習内容についてできることから実践し、検討してきました。単元の学習計画の一部を、朝の学習時間（モジュール）に組み入れることで、漢字や計算の基本練習やA Iドリルなどに集中して取り組むことができ、一定の効果が期待できそうなので、次年度以降、積極的に単元の学習計画に組み入れ、更に研究を深めていきたいと考えています。

モジュールを実施することで週のプログラム（時間割）については、全学年で授業時数を1コマ分多く確保できることとなります。子どもたちの負担感等も考慮しながら授業時数の適正化を図り、次年度は下の図のようなプログラムにしようと考えています。通常（45分）のコマ数は1、2年生で1コマ、3年生では0.5コマの減少、4年生以上は、学習内容も高度になるため、本年同様に確保します。長期休業明けのスタート時などは、授業を5時間までにとどめて学校生活に適応しやすくします。また、学期末の成績総括の時期等には、本年同様に短縮授業を取り入れるなどして、放課後の時間をしっかり確保し、職員の研修や事務の時間に充てるとともに、多忙期であっても、子どもに向き合う時間をしっかり確保できるような日程調整をして、働き方改革にも取り組めればと考えています。

### <令和7年度の週プログラム>

1年生					2年生					3年生					4年生					5~6年生				
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								

  

1年生					2年生					3年生					4年生					5~6年生				
月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								

※3年生の火曜日は、4~6年生のクラブや委員会がある場合には5時間授業になります。

※4年生の火曜日は、5、6年生の委員会活動がある場合には5時間授業になります。